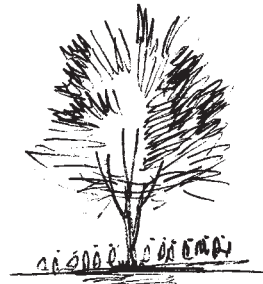
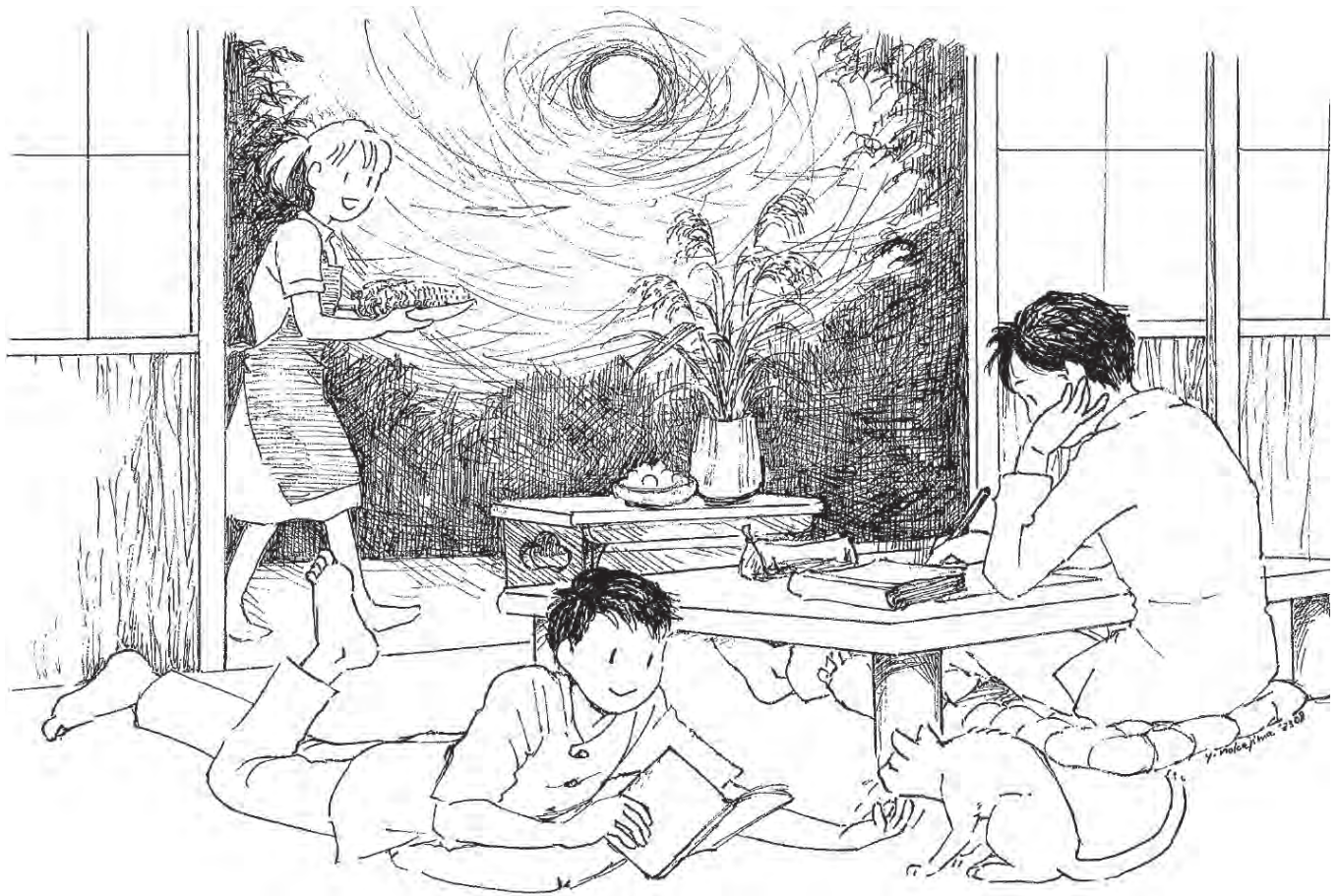


光の子



No.211 2023.10.10

●年間聖句 わたしたちは、目に見えないものを望んでいるなら、忍耐して待ち望むのです。
(ローマの信徒への手紙 8章25節)



「十五夜」

表紙絵・中島 由起子

あをあをと

黛 まどか

風あをあをと父の日の来たりけり

明易の夢に寄せくる波の音

仏桑花赤し珊瑚の野面積

父の日や父ありし日も亡きあとも

句集広島より這ひ出でし紙魚ひとつ

奥つ城へ緑の風を登りゆく

朴の花さがして父の空に遭ふ

先が見えてきた日々

老健施設紅寿の里 施設長 仙道 富士郎

この7月で85歳になった。

6月に運転免許を書き換え
た。自動車学校で受ける認知
症診断テストで落第したら大
変とばかりに、参考書を買っ
て受験勉強した。自動車学
校の先生はそのことを知ら
ず、「良くできますね」と宣
った。いずれにしても、あと
3年で運転は終わりと決め
た。

胃がんで胃全摘術を受けた
こともあり、野放図に生き延
びることもあるまいという想

いは、日々の生活を少し変え
た。これまでの80余年、生き
ていくための目標を定めて、
それに向かつて進んできた
という記憶は全くない。否、
時々目標はことごとく途中
で消え失せていったというの
が正確である。高校入学時は
文系志望であったのだが、大
学受験時は医学部を志願して
いたし、大学卒業後は精神科
志望のはずだったのに、なぜ
か、内科の大学院に入学し、
教授の勧めで、基礎医学講座

に出向き、そのまま、基礎医
学者になってしまった。学生
運動にのめり込んだときは、
人生の中で唯一大きな目標を
持って生きた時であると思う
が、それとて、長続きはしな
かった。

今振り返ると、我ながら、
呆れるばかりである。要はい
い加減なのである。しかし、
強がりと言われるかもしれな
いが、目標を立てて、それを
一つ一つ達成していく生き方
ができなかったことを悔いて
はいない。なにしろ、私の周
囲には、私を幸せにしてくれ
る人たちが沢山いて、その人
たちのお陰で、こんなに恵ま
れた人生をおくった人間は、
世にそんなには居ないだろう
と、いま心底思っているか
ら。

しかし、人間先が見えてく
ると、違うものだなあと最近
思う。大きな目標を立てて進
むには先が短いし、そもそ
も、そんな大それたものでは
ないのだが、さて、この半
年、否この一か月、どうやっ
て生きていこうかと思いあぐ
ね、その末に定めた思いに沿
って毎日を過ごすことが多く

なってきた。もちろん、今お
世話になっている老健、紅寿
の里の施設長としての仕事
を、誠意をもって、力いっぱ
い日々続けていくことは、基
本の基である。研究者を長く
続けてきたが、研究自体を自
分の仕事とわきまえて日々を
過ごしていったという自覚は
ほぼ無く、目の前に次々に現
れる自然現象に心を奪われ続
けてきただけだ。今回の老健
の仕事は、小生の最初にして
最後の仕事という事になるだ
ろう。先日、老人医療、特に
老人の嚥下障害の問題に、臨
床医として長年取り組んでき
た大学時代の教え子に、施設
に来てもらって、話をしても
らった。そのエネルギーシユ
な取り組みに驚嘆し、なにか
自分にも彼女を助ける術はな
いかと自問した。

要するに、80余年も虚の世
界に遊んで来た人間が、死を
前にして、実の世界に足を突
つ込みたがっているという事
か。その決意や見事であるが
(う)、実の世界を歩む術は、
老化に伴ってひどくすり減っ
てきていて、事を成すにはな
かなか大変である。頭で描



7月、本園の事務棟前の竹と短冊。お菓子がたくさん食べられますように、名古屋場所で推しの力士が活躍しますように、など様々だった。

いたことを言葉で表そうとしても、単語がなかなか出て来ない。最も苦渋するのは、講演の時である。まさに絶句しかかってしまう。その恐怖ゆえ、講演の原稿は、最初の自己紹介からすべてパソコンのカンニングペーパーに書き込む。えふりこぎ（秋田の方言で「良い恰好し」の意味）だから、カンニングペーパーを讀んでいることを気づかれるのは嫌だ。結果、一時間もかかる講演の原稿を20回以上讀み上げて練習した後に講演に臨むことになる。

文頭に運転免許は、これで最後と記した。運転免許が切れるころには、老化はもつと進んでいるに違いないと思う。人様に迷惑を掛けながら仕事を続けるのは良くないから、否、今でも結構迷惑をかけているのかもしれないが、それを区切りに、実の仕事からは身を引かなければなるまいと思う。負け惜しみと聞こえるかもしれないが、そうやって、パソコン一台だけそばに有れば、結構豊かな精神活動は続けられそうな氣もしている。

切羽詰まったような話をしながら、がんを克服したのだから、百歳くらいまでは生き

応接間にて

彫刻家 中島 睦雄

私の所の応接間は、今のところ本来の使い方をしている。

ジジイの一人暮らしでは、おそれおおい貴人の方や、もつたいない方々が訪れてくださる事が、殆んどないのである。

したがって、応接間が本来の役目に関係なく、私の心を休める場所となっているのである。

戸棚には、自分で集めたコーヒーカップ、或いは普通のお茶飲みの茶碗など、幾つもしまつてある。

これは、特に高価なものではなく、いろいろな機会に心を引かれた物で、手に入りやすいものを買ってきて、楽しんであるだけである。

又、これとは別に、壁には

るだろうとご本人は思っているのである。

絵や書などが飾つてある。

ミケランジェロの作による彫刻の写真は、大分以前から飾つばなしである。

書では、高名な堀越青鳳先生の書がある。その一枚は、私が停年で仕事を辞める時にいただいたもので「不繫の舟」とある。

そうだ、もう仕事でつながれなくなつた、つまり自由になれるんだ、と思つた。

そして、もう一枚は、ひらがなで「のぎく」と書いていただいた。

堀越先生とは、以前職場を同じくした事もあって、何かと親しくしていたので、何かので、「ちよつと書いて下さいよ」などと、お願いしてしまふのであつた。

この「のぎく」は、下総皖

一を偲ぶ会の会報誌に使わせていただいた。

つまり、下総皖一曲の名曲「野菊」を、ひらがなで書いていただいたのであつた。

すると、或る女性の方が、突然私の所に訪ねて来て「あの「のぎく」という文字は、どなたが書かれたものですか？あまりにも素晴らしいですよ」とおっしゃつた。

この方も、書をやる方で、有名な団体に出品している方だという事であつた。

しかし、ズブの素人である私には、あの「のぎく」の文字が、単なるひらがな文字としてしか、わからなかつたのである。

素晴らしい文字なのに、それを、私には理解できなかつたのである。

この応接間には、それ以外にも、油絵や彫刻などもあつて、心のなぐさめになつているのである。

近藤みちる

「共育ちカンガルー日誌」
は休載です。

プリズム

倉澤家から
「ダイエット」

保育士 倉澤 智子

最近ダイエットを始めた莉玖。決して太っているわけではなく、標準体重をキープしているの、本来ならばダイエットの必要はない。

しかし、本人は標準体重ではなく、美容体重を目指してダイエットを決意。美容体重とは、よりスリムに見えるための体重のようで、莉玖の友人は皆、美容体重をキープしているとのこと。そこで、この夏休み中に2キロダウンを

目指すことにしたようである。

莉玖流ダイエットは、①1日2Lの水を飲む。②防寒ジャケットを着てのウォーキングまたは部屋でダンス。③間食をしない。④食事の量を減らす。

夏休みに入って10日程の現在、①の水を飲む、③の間食をしないは継続中。②のウォーキングまたはダンスは、担当者の知る範囲では、お休み中?の様子。④の食事の量に關しては、少なめに……と言われているため若干少なめにはしているが、極端に食べないということのないようにはしている。

そもそも食べることが大好



お祭りは〈チートデー〉だけではなく、ちゃんと花火も見ました。キッチンカーのケバブも楽しみましたが。

きな莉玖。しかも好物は白米と辛いもの。甘いものも好き。誘惑の多い日常の中でのダイエットは困難なようである。

先日行ったお祭りでは、〈チートデー〉と称して、爆食した様子。

また、他児からのおみやげのクッキーを見つけ、「今日は塾で頭を使ったから糖分が必要」と言ってパクリ。

「これ食べなくても死なない!」と思つてがまんするが、「これ食べても死なない!」になつていたり……。

担当者としては、ストイックなダイエットより、このくらいゆるいダイエットの方が、ほほえましく安心でもある。

また、ダイエットを始めて一番のメリットが、自分で調理するようになったこと。スープは栄養もあり、満腹感もあるということ、ミネストローネを作っていた。これからも、ダイエット料理に興味を持って、調理の方もがんばってほしいと、切に願う担当者である。

園内保育から
「いあいせい」

保育補助 平野 砂恵

初めまして、4月よりご縁をいただき光の子どもの家でお世話になっております平野砂恵と申します。

27年前になります、長女が小学6年、長男が幼稚園年長の夏に浦安から夫両親の住む旧大利根町に引っ越してまいりました。

子どもが学生の時は娘のバスケットボール、息子のサッカーの応援が何よりの楽しみでした。私もスポーツは好きで、バスケットボールやバレーボール等に打ち込んでいたこともありました。

今は主人と愛犬との暮らしになりましたが、愛犬3歳とアジリテイ競技に取り組み日々を送っています。

前職は縫製を20数年ほどしていました。

義肢装具製作所で医療用コルセットなどを作っていました。親の介護がきっかけで必要に迫られヘルパー2級の勉強をしたことで、福祉に興味湧き、障がい者施設で生

活介護員として就労してまいりました。

これから光の子どもの家の子どもたちとは、健康を見守ることを念頭に、自己肯定感を高められる言葉をかけていきたいです。

どうぞ皆さまご指導宜しくお願い致します。

佐藤家から

「夏の宿泊行事」

保育士 大鹿 媛歌

皆様はじめまして。4月より職員となりました大鹿媛歌と申します。どうぞよろしくお願ひ致します。

今年も宿泊行事を行うことができました！ 佐藤家は那須高原へキャンプに行っていました。

出発数日前、ひろみが体調を崩してしまいました。佐藤家みんながソワソワして「ひろみ大丈夫かな？」「良くなるよね？」と心配。そんな子ども達に「みんなで行けるように、ひろみが良くなるように祈ろう」と言って、目を瞑って手を合わせ祈りました。当日、ひろみの体調は良く

なり、佐藤家全員で出発！子どもたちは自然の中でのびのび過ごしていました。

夜になり、真つ暗になると、翔馬は「怖い。眠れない。」と慣れない場所に怖がりだしました。すると彬が「大丈夫。俺が寝かしつけてあげる」。それを見ていた日向が「日向ちゃんのブランケット借してあげるよ」。福は「上いるから大丈夫。しょーちゃん怖くないよ」と声をかけました。翔馬は、日向に借りたブランケットをかけ、彬に寝かしつけてもらいぐっすり眠ることができました。

次の日、キャンプ場内にある公園でひろみが遊んでいると、「怖い！」と泣き出しました。アスレチックに登っていて、どう頑張っても私の手は届かず「抱っこするからもう少し近くにきて」と言うものの「怖いからいけない!!」と。どうしたものか私は困っていました。達也に「ちよつと助けて」と声をかけてみると「いいよ」と言いひろみを抱っこしてアスレチックを歩いてくれました。そして滑り台を怖がるひろみを見て「一

緒に行く？」と膝に乗せ滑ってくれたのです。

この夏行事で、子どもたちの大きな優しさをたくさん見ることが出来ました。これから子どもたちと私も一緒に成長していきたいです。

心理室から

「いあいうえお」

臨床心理士 中西 健吾

は彼らの必死さに触れ心が締め付けられる思いになることがあります。この痛みも彼らが生きていてくれたからこそ受け取れていると考えると、これまで生きてきてくれたこと、ここで出会ってくれたことに、嬉しさと感謝をやっぱり強く感じます。

今を一生懸命生きている彼らを見てみると、そういえば自分もこれまで生きてきたんだな、自分の中にも大きな生きる力が実はあるのかもしれないなと思うことがあります。子どもたちが生来持っている力と自分の中にもあるはずの大きな力を信じて、今日も精一杯頑張ります！

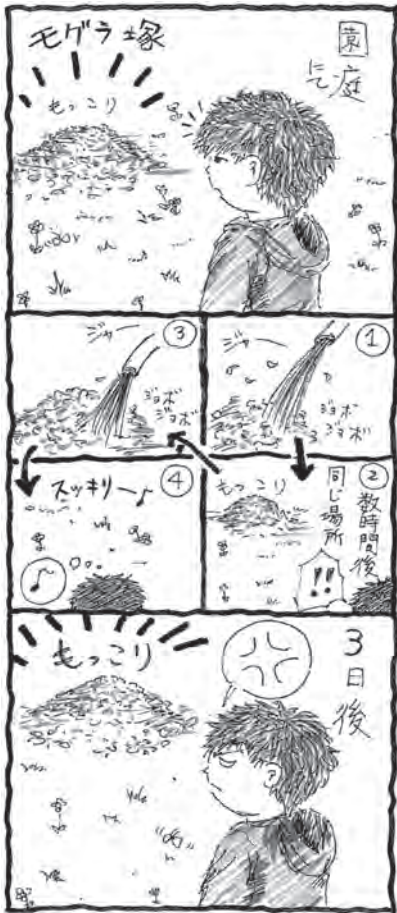
厨房から

「いあいうえお」

調理補助 酒本 平

はじめまして。2022年度から光の子どもの家ではたらいっている酒本平と申します。調理補助を中心に、時間があれば子どもたちと遊んだり、話をしたり、小さい子のお世話等をやらせていただいています。宜しくお願ひ致し

リアルもぐらたたき？



ます。
 今回の夏は原田家の一部の子どもたちと赤城バイブルキャンプに一泊二日で行ってききました。
 釣りをしたことがないという6年生の正宗のために群馬の釣り堀に行ったり、キャンプファイヤーや自然散歩もできて、涼しい山の上での充実した2日間となりました。
 実は赤城バイブルキャンプ場は私が光の子どもの家でもたらくきっかけになった場所でもあります。私は以前、そのキャンプ場で働いていて、毎年やって来る光の子どもの家の方々と会っていました。その中で職員の水さんに見童養護施設のお話を伺い、そこではたらきたいと思うようになりました。それから高校

を卒業し今に至ります。
 それにしても、そのキャンプ場に、今度は違う立場で訪れることになるとは……
 光の子どもの家に来てからまだ1年ほどではありますが、子どもたち、職員たちの辛い別れ等もありました。誰もがずつと居られる場所ではないので、そのようなことは今後も繰り返されることではあるのでしょうか……。来年は5人の子どもたちが卒園予定です。
 コロナ禍に見舞われた子どもたちは、本来ならしてたであろう沢山の経験が出来なかつたことは悔やまれます。それらを取り戻すことはできませんが、関わりを通して、彼等のこれからを生きていく手助けが少しでもできたらと思

います。

日誌抄

2023年5月～8月

【9月1日の在籍児童数】

幼児 4名 小学生12名
 中学生6名 高校生9名
 その他1名 計 32名

【5月】

3日 加須市民平和祭へ。男児2名が祭りの相撲大会に出場。1名がチーム戦で優勝。
 5日 子ども祭り開催。3年ぶりにお客様をお招きし、宝道、ザ・みゆうじつくボックスの演奏も。卒園生も多数来訪。
 8日 小学校の面談期間。同じ職員が担当する子どもの面談は同じ日に固めてもらうのだが、多い日は3人分の面談が続くことも。

13日 5月生まれの誕生会。
 19日 パントリー。
 27日 第三者委員との話し合い。
 28日 子ども5名と職員2名で西武ドームへ。オリック

ス宮内財団の招待を受け、プロ野球観戦。所沢は意外に近かった。試合前から、WBC代表選手のブルペン練習に興奮していた。



【6月】

10日 監事監査、第31回理事會。
 19日 6月生まれの誕生会。

【7月】

16日 羽生水郷公園でBBQ（夏行事に向けた練習）。
 20日 夏休みオープンングパーティー、7月生まれの誕生会。
 埼玉福祉保育医療製菓調

理専門学校学生22名来訪見学。

21日 夏休み開始&園庭プール開き。パントリール。

24日 秀明と穴水が、仙台のアンパンマンミュージアムへ。

25日 ご招待を受け、むさしの村へ。

28日 通報避難訓練。

29日 小学生のうち希望者がふれあい演劇鑑賞会「銀河鉄道の夜」へ。倉澤家は南栗橋の「豊田ふるさと祭り」へ。

31日 原田家から3名が赤城バイブルキャンプに1泊。東仙道家4名と仙道家2名が秋田へ。

【8月】

1日 佐藤家が那須でキャンプ。

10日 仙道家から3名が浅草へ1泊、楓が元担当職員のご実家に宿泊。

23日 東大宮教会中高科夏季学校、星野富弘美術館と足尾銅山見学。

25日 夏休みさよならパーティー、8月生まれの誕生会。

生会。

【礼拝ご奉仕各位】 東大宮教会教師、木田浩靖、木田智恵子、佐々木優、橋本従道

【委員会の主な動き】

運営 行事検討 職員体制検討及び実施

危機管理 避難訓練 コロナ

5類移行に伴う対応協議

学習支援 夏休み宿題指導

環境整備 プール設置 資材調達 除草作業

食生活 夏休みオープンング

パーティー食事会

研修 職員、児童の研修企画

広報 機関誌企画・発行

情報・通信 子どものスマホ

使い方指導

【実習生】 十文字学園女子大

学1名 東京福祉大学1名

東北学院大学1名

【元職員の来訪】 鈴木康孝、

牧野由起子、岩瀬志穂、田口

貴子

【寄贈者各位】

相崎伸子 飯

田誠 市川美津子 江口莉彩

大橋清栄 柿沼雅俊 小池

みどり 木暮伸二 五條レイ

ナ 佐々木誠 坂本和歌子

桜井俊一 鈴木康弘 高橋和

男 竹林勝子 内藤芳江 丹

羽吉康 野本裕子 浜田文昭

藤田幸子 古川景子 村田

裕介 山口榮子 湯澤真彦

(株)イトアンドホールディン

グス 市流 笑顔プラス子ど

も支援機構 鴨川会 すくす

く広場 セカンドハーベスト

ジャパン (株)チュチュアンナ

1%クラブ 富田農園 プレ

イグラウンド・オブ・ホーム

【ボランティア各位】

〈華道〉岡本有代 〈施設補

修〉栗橋宮繕〈学習〉関口晃

司 常松洋介 向井進 〈手

芸〉山田智 山田裕子〈訪問

美容・理容〉アンスリーム

〈保育〉江口莉彩

その他、多くの皆様にお世話になりました。ありがとうございました。

ご寄付について (物品の寄贈は事前にお問い合わせください)

【郵便振替】 00130-1-128022

他銀行から【銀行名】 ゆうちょ銀行 【金融機関コード】 9900 【店名】 019店

【店番】 019 【預金種目】 当座 【口座番号】 0128022

【発行】 社会福祉法人 光の子どもの家 【住所】 〒349-1155 埼玉県加須市砂原277-3

【電話】 0480-72-3883 【FAX】 0480-72-6649 【メール】 hikarinoko@ceres.ocn.ne.jp

【Webサイト】 http://www.hikarinokodomoie.com/ 【印刷】 (株)エル・アートデザイン